

北上市総合計画 2021～2030 令和5年度基本施策事後評価シート（評価対象期間：令和4年度）

基本方針	8.環境にやさしい、安全・安心な暮らしの形成
基本施策	8-2.循環と共生による持続可能な社会形成
関連するプロジェクト	

豊かな自然と都市空間が共生する住みよい住環境の実現に向け、自然環境保全と地域に応じた再生可能エネルギーの普及とともに、資源循環型社会に向けた取組を推進します。また、企業活動に伴う環境影響や日常生活で生じる悪臭や騒音等を防止し、より良い地域環境づくりに取り組みます。

評価項目	A	順調
	B	概ね順調
	C	やや遅れている
	D	遅れている

総合評価	B
------	----------

R5事後	18
------	-----------

※達成状況評価欄の（ ）内については昨年度の評価結果です。

No.	担当部署	プロジェクト	推進方針	成果指標	達成状況(対象:R4) (上段:指標に基づくもの 下段:指標以外のもの)	達成状況 評価	達成状況分析(上段:指標に基づくもの 下段:指標以外のもの)		今後の方向性 (◇:R5に着手予定・着手済み ◆:R6以降の着手を検討)
							内部要因	外部要因	
1	生活環境部		花いっぱい運動の推進 環境美化意識の向上、地域コミュニティの活性化を維持するため、活動内容についてより効率的・効果的な方法を取り入れ、少ない人数や個人でも取り組みやすい事業展開を行い、潤いある緑豊かなまちづくりを推進する。	①	花苗配布団体が減少しており、期待値を下回っている。 花いっぱいコンクールへの参加団体が増加している。	B (B)	花苗育苗者が高齢化しており、団体内における花苗管理が難しくなっている。 市民集会以でのコンクール参加団体への講評や表彰により、環境美化意識の向上を図った。	コロナ禍により地域活動が縮小している。	◇企業へのチラシを作成・配布し参加団体数の増加を図る。
2	生活環境部		省エネ行動と再生可能エネルギー利用の推進 子ども向け教室や出前講座等で再生可能エネルギーや環境問題に対する理解を深め、自然に省エネ行動ができる環境配慮型の人材を増やしていく。 かむいソーラーの売電収益を活用した公共施設の省エネ化を進め、効果を市民に周知するとともに、太陽光発電等の再生可能エネルギーを導入しようとする市民を支援し、カーボンニュートラルの実現を目指す。	②	再生可能エネルギー設備(太陽光・蓄電池)の導入について、個人住宅への導入件数が順調に伸びており、期待値を達成している。 きたかみこども環境未来塾及びライフスタイルデザインプロジェクト、エコチャレンジを実施した。	A (A)	北上市住宅用おひさまパワー活用設備設置費補助金の補助内容及び金額を拡大したことが周知された。 子どもエコチャレンジは定着しており、全小中学校で取り組めた。	気候変動による全国的な異常気象や災害の発生を受け、市民の再生可能エネルギー設備の関心が高まっている。 コロナ禍で密を避ける必要があるため、イベントの参加を減らしている状況である。	◇R4おひさまパワー活用設備設置費補助金継続 ◆子供対象とした環境学習イベントの継続、成人を対象として環境講座についてはR6年度実施に向けて検討する。
3	生活環境部		環境監視の充実と公害防止対策の推進 環境保全協定の締結事業所を中心に立入検査や立入測定による訪問指導を継続するとともに、専任環境監視員による環境監視パトロールを効率的かつ継続的に実施することで、公害の発生抑制や環境汚染事故の未然防止対策を推進する。	③④	協定で定めた協定値を遵守できていない企業があるが、期待値は上回っている。 (32事業所中1事業所が基準超過) 重大な環境汚染事故などの防止ができています。	B (B)	協定値を遵守できなかった場合でも、訪問指導を適切に行っており、再測定の結果では協定値を遵守できている。 専任環境監視員による環境監視パトロールをほぼ毎日実施している。	改善はその都度図られているものの、対症療法的なやり方が多い。また、協定締結事業所の中には、施設の老朽化が進んでいる所がある。 環境保全協定の締結が、事業所の環境汚染防止につながっている。	◇環境保全協定の締結事業所への立入検査を継続して実施していく。 2年以上遵守できなかった事業所については、施設の改修を求めるなど指導を強化していく。 ◇専任環境監視員による環境監視パトロールを継続して実施していく。
4	生活環境部		ごみの発生抑制とリサイクルの推進 可燃ごみ・不燃ごみが最終処分されるまでの処理過程やごみ処理手数料の用途などを市民に可視化することにより、4R(断る、減らす、再利用、リサイクル)の意識高揚を図る。 不要なレジ袋を辞退するようマイバッグ持参を呼び掛けるなどプラスチックごみの削減に取り組む。 30・10運動の拡大とリサイクルの意識啓発を行い、事業所から生じる食品ロスの減量と紙の資源化を図る。	⑤⑥	リサイクル率は0.8ポイント減少、一人1日当たりのごみ排出量は3g減少したが、期待値に達していない。 家庭からの廃棄物は、可燃ごみ425.8t増加、不燃ごみは97.3t減少、資源ごみは158.9t減少、事業所からの廃棄物は343.7t減少(R1→R4)	C (C)	可燃ごみ排出量はほぼ横ばいだが、不燃ごみ排出量が北上市清掃事業所の火災(R4.5.2)により、前年比14%減少。 小型家電宅配回収の協定締結(R4.10～)による再資源化及び不燃ごみ中から小型家電類を手選別により抜き取り再資源化により不燃ごみ量は減少	資源ごみ常設ステーションへ不適正(可燃ごみ、不燃ごみ)に排出される量が増えている。 ・コロナ禍で事業活動が縮小したため、事業所からの廃棄物が減少した。 ・民間企業の店頭による資源回収が増加したことから市が回収する資源ごみが減少。 ・集団資源回収量が減少。	◇ごみ分別アプリ「さんあ〜」のチラシを工業クラブや不動産屋を通じて配布し、ごみ分別の周知を強化する。 ◇収集した不燃ごみから小型家電類の選別を継続し、有用な金属類やプラスチック類の再資源化の徹底を図る。 ◇製品プラスチックの資源ごみ化について、R5年度からパイロット事業を行い、分別区分を可燃ごみから資源ごみへ変更するにあたっての検証を行う。 ◆不要な不燃物等の有効活用を図るため、リサイクルショップ等の研究を行う。
5	生活環境部		ごみの不適正排出、不法投棄の防止 関連機関と連携し、アパート入居者へごみ分別の周知・指導を強化するほか、不法投棄防止パトロールやクリーン活動の実施結果を市民に周知するなど、不適正排出・不法投棄防止及び海洋プラスチックごみの発生防止に向けて意識啓発を図る。	⑦	清掃活動参加人数は、R4年度の実績値が22,004人と昨年度より約2,500人増加したが、これまでの減少幅が大きく、期待値を達成することができなかった。 各地区公衆衛生指導員と連携を図り、不適正排出者へのごみ分別の周知・指導を行うことができた。	B (B)	・コロナ禍の影響により、市主催のクリーン活動が中止となったため活動参加の機会が減少している。 ・地区の清掃活動において、密を避けるために規模の縮小、延期又は中止の判断をした地区が多数あり、実施回数や参加人数が減少している。 各地区公衆衛生指導員によるごみ集積所の見回りを強化し、不適正排出者が特定できるごみが見つかった場合は、担当者へ連絡するよう依頼した。不適正排出者が特定できる場合、自宅等へ訪問し直接指導を行った。	◇市衛連理事と連携し、コロナ禍前と同規模で不法投棄防止パトロールを実施する旨を周知し参加者の増加を図る。 ◇R4年度までコロナ禍により中止していたクリーン活動を再開する。 ◇各地区公衆衛生指導員と連携を図り、ごみ分別の周知及び指導を継続 ◇各種活動への関心を高めるため、R5秋分から集計を開始する不法投棄防止パトロールや再開するクリーン活動の結果を周知し、活動の成果を見える化する。	

凡例 ●実績値 ○期待値

指標	指標の説明	実績値/期待値							
花苗配布団体数	花苗配布を希望する団体実数(花いっぱい運動への協力団体)								
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
生活環境部	団体	実績値	219	216	211	207			
		期待値 ※R7は目標値	219	219	219	219	219	219	219
		備考							
おひさまパワー活用設備設置費補助金申請件数	補助金の交付決定をした設備数								
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
生活環境部	件	実績値	57	68	92	122			
		期待値 ※R7は目標値	57	64.167	71.333	78.5	85.667	92.833	100
		備考							
市内類型指定河川のBOD値(75%値)基準達成率	若手県が測定した河川のBOD(生物化学的酸素要求量)が、定められた基準を達成している割合								
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
生活環境部	%	実績値	100	100	100	100			
		期待値 ※R7は目標値	100	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100
		備考	H30値	R1値	R2値				R6
環境保全協定締結事業所の協定基準遵守率	排水やばい煙などについて、協定で定めた協定値を順守している企業の割合								
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
生活環境部	%	実績値	93.9	93.9	96.9	96.9			
		期待値 ※R7は目標値	93.9	94.9	95.9	97.0	98.0	99.0	100
		備考							
リサイクル率(事業系資源、焼却灰を含む)	<small>総ごみ量に対する総資源化量の割合</small> <small>※総ごみ量:家庭系ごみ(可燃、不燃、資源)及び事業系ごみ(可燃、不燃、資源)</small> <small>※総資源化量:集積所収集に加え、イベント回収による小型家電、市に報告のある事業系資源、セメント原料になる若手中部クリーンセンター焼却灰などの資源物の総量</small>								
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
生活環境部	%	実績値	38.00	36.71	36.54	35.74			
		期待値 ※R7は目標値	38.00	38.08	38.17	38.25	38.33	38.42	38.50
		備考							
一人1日当たりのごみ排出量(資源ごみを除く)	住民基本台帳人口(9月末現在)一人1日当たりの家庭系ごみ(可燃、不燃)と事業系ごみ(可燃、不燃)を合わせた量								
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
生活環境部	g	実績値	665	665	671	668			
		期待値 ※R7は目標値	665	662.7	660.3	658.0	655.7	653.3	651
		備考							
清掃活動参加人数(市衛連春秋清掃月間・クリーン活動・不法投棄監視パトロール、和賀川の清流を守る会の参加者)	年間の市内清掃活動人数								
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
生活環境部	人	実績値	26,794	22,577	19,532	22,004			
		期待値 ※R7は目標値	26,794	26,795	26,796	26,797	26,798	26,799	26,800
		備考							
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		実績値							
		期待値 ※R7は目標値							
		備考							
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		実績値							
		期待値 ※R7は目標値							
		備考							
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		実績値							
		期待値 ※R7は目標値							
		備考							
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		実績値							
		期待値 ※R7は目標値							
		備考							
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		実績値							
		期待値 ※R7は目標値							
		備考							
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		実績値							
		期待値 ※R7は目標値							
		備考							
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		実績値							
		期待値 ※R7は目標値							
		備考							
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		実績値							
		期待値 ※R7は目標値							
		備考							